

2020年度 事業報告書

学校法人 敬道学園

I. 法人の概要

学校法人敬道学園

代表：理事長 牧野 健介

所在地：愛知県名古屋市中村区黄金通1-16

設立：1967年4月1日

1. 沿革 (2021年3月31日現在)

- 1967年 日本デザイナー学院・日本写真専門学院名古屋校創立
学院長に山名文夫就任
- 1979年 専門学校設置認可に伴い、日本デザイナー学院名古屋校写真科に改称
校長に狭間寿郎就任
- 1981年 校長に横田真利就任
- 1984年 校長に岡本滋夫就任
- 1987年 名古屋校創立20周年記念「高校生デザイン・写真コンペティション」開催
- 1990年 パリ海外研修旅行始まる
- 1991年 名古屋市中村区黄金通に新校舎完成移転
校長に中井幸一就任
- 1995年 マルチメディアデザインコース(現デジタルデザインコース)設置
- 1997年 名古屋校創立30周年を迎えOB30展開催 マンガコース設置
- 1998年 日本デザイナー芸術学院に校名変更
コミュニケーションアート学科設置
校長に竹内克郎就任
- 1999年 写真科OB35展開催
- 2000年 OB展2000「DIGITALWORLD」開催
- 2002年 創立35周年記念イベント開催
中国国立四川大学芸術学部と姉妹提携
- 2003年 世界グラフィックデザイン会議に出展
- 2007年 校長に田辺雅一就任
創立40周年記念「OB40展」開催
- 2010年 日本マンガ芸術学院開校
(マンガ分野と声優タレント分野に特化した日本デザイナー芸術学院の
グループ校として創設)
校長に成光雄就任
- 2011年 日本デザイナー芸術学院校長に本山星求就任
- 2014年 日本デザイナー芸術学院校長に成光雄就任
- 2015年 学校法人名を敬道学園と改称
- 2018年 日本デザイナー芸術学院、日本マンガ芸術学院に3年制コースを新設
- 2020年 日本デザイナー芸術学院にこども芸術学科設置

2. 設置学校・学科・コース

専門学校日本デザイナー芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年/3年

【設置学科・コース】

ビジュアルデザイン学科 募集定員(120名) 文化教養分野

グラフィックデザインコース 2年/3年

キャラクターデザインコース 2年/3年

イラストデザインコース 3年

アートデザインコース 3年

映像デザインコース 3年

国際メディアデザインコース(留学生対象) 3年

こども芸術学科 募集定員(20名) 教育社会福祉分野

保育士コース 3年

専門学校日本マンガ芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年/3年

【設置学科・コース】

メディアアート学科 募集定員(110名)

マンガコース 2年/3年

コミックイラストコース 2年

小説クリエイトコース 2年

声優タレントコース 2年/3年

国際メディアデザインコース(留学生対象) 3年

2. 設置学校の在籍学生数の状況

各設置学校の2020年5月1日現在の学生数

学 校 名	新入生	進級生	合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	127	63	190
専門学校日本マンガ芸術学院	75	57	132

3. 教職員・役員の状況

教職員 80名

役員	理事	牧野 健介	学校法人敬道学園 (常勤・理事長)
		成 光雄	学校法人敬道学園 (常勤・校長)
		宮武 一行	学校法人恭敬学園 (非常勤・外部理事)
		田中 智	株式会社日本教育工房(非常勤・外部理事)
		杉本 良行	学校法人恭敬学園 (非常勤・外部理事)
	監事	鈴木 康弘	株式会社日本教育工房取締役
		大川 高志	株式会社ラバーセンス代表取締役

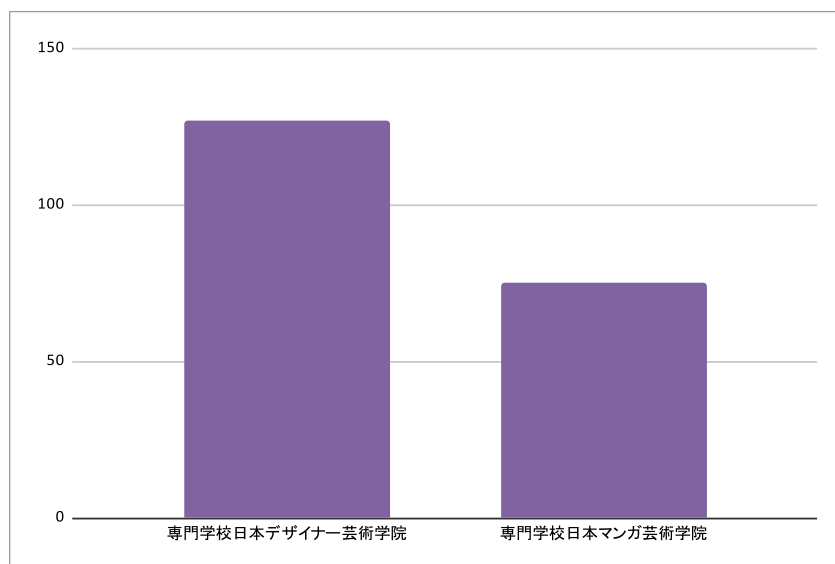
Ⅱ. 当該年度の事業の概要

1. 募集活動

2020年4月入学者は、合計202名

(専門学校 日本デザイナー芸術学院:127名 専門学校 日本マンガ芸術学院:75名)

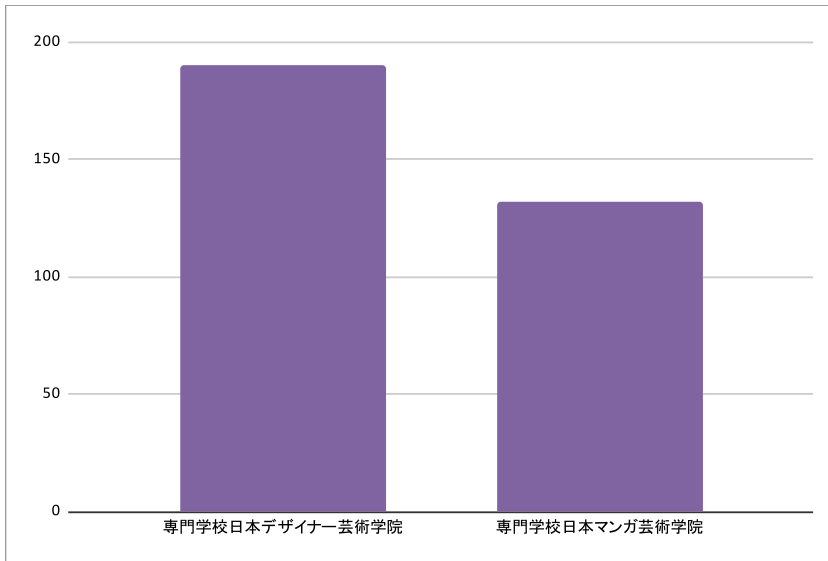
敬道学園・新入学者数		合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	127	202
専門学校日本マンガ芸術学院	75	



2020年4月在籍者数は、合計322名

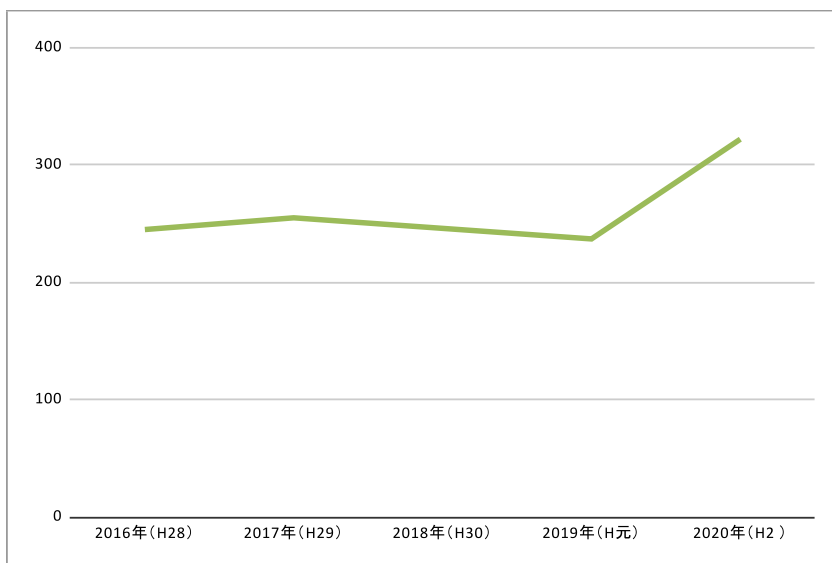
(専門学校 日本デザイナー芸術学院:190名 専門学校 日本マンガ芸術学院:132名)

敬道学園・在籍者数		合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	190	322
専門学校日本マンガ芸術学院	132	



敬道学園 学生数推移(2016年～2020年)

敬道学園・学生数推移(2016～2020)	
2016年(H28)	245
2017年(H29)	255
2018年(H30)	246
2019年(H元)	237
2020年(H2)	322



2. 就職活動について

当学院では、業界への就職やデビューを実現させるためのプログラムとして「キャリアデザイン」による就職対策、「デビュー支援プロジェクト」を要とした業界へのアプローチを1年次から実施している。

定期的な学生支援の継続で学生の意識向上や積極的な業界へのアプローチを可能とし近年では、業界では難関と言われる企業への就職や在学中からの作家デビューなど実績を重ね、卒業後のキャリア支援も含めた好調な進路決定率を維持している。

2020年度3月卒業生の就職実績としては、専門学校日本デザイナー芸術学院として77% 専門学校日本マンガ芸術学院として1%の実績となる。※1

2020年度は、コロナ禍の中、採用を控える企業も目立ち、見通しの立たない中での就職活動を強いられ学生達にとっても非常に苦戦した年度となった。

リモートでの企業説明会や採用面接を行う企業が増える中、それらに対応した就職支援が急務であり、次年度以降は、そのような点も踏まえ多種多様な進路決定を実現すべく個別指導の徹底を図っていく。

※1(専門学校日本マンガ芸術学院は、各コースの特性上、漫画家アシスタント、養成所進学等も数値に含む)

3. 進級率・退学者について

当学院では、進級率の向上、退学者の減少の為に施策としてカウンセリングシートを活用した退学要因の把握と個人面談の複数回実施による学校生活サポートを重点項目として取り入れている。

経済的状況による退学者が多い状況の中で、学習意欲の減退や人間関係でのつまづきが最小限にとどまるよう、個々の学生とのコミュニケーションを緊密にとり、生活面及び学習環境の改善に努めている。

2020年度の進級率としては、学園全体として87%である。

4. 当該年度の取り組み

ここ数年、全国的な人手不足を背景に当学院にも多くの企業から求人がよせられたが、昨年来より発生した世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、経済活動の停滞と企業の採用活動の鈍化傾向により例年と比較して就職状況としては厳しい1年となった。当初予定していた、国内及び海外研修旅行等も中止となり、学生の教育機会の提供が著しく棄損された状況であった。

そのような中でも、2020年6月からは、通常授業を再開し、感染症対策を徹底しながら学校運営を行った。

以前、見通しの立たない状況ではあるが、次年度に関しては、オンライン授業の導入や学生・職員の安全確保等の取り組みを更に徹底し、学生満足度を向上させる施策に取り組んでいく。

Ⅲ. 財務の概要及び決算報告

【貸借対照表】

資産の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
(固定資産)	1,384,263	1,388,069	△ 3,806
【有形固定資産】	1,381,446	1,387,530	△ 6,084
【その他の固定資産】	2,816	539	2,277
(流動資産)	326,420	302,881	23,539
〔資産の部合計〕	1,710,684	1,690,951	19,733

負債・純資産の部

(単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部	403,321	424,786	△ 21,465
(固定負債)	56,728	83,479	△ 26,751
(流動負債)	346,592	341,306	5,286
純資産の部	1,307,362	1,266,165	41,197
基本金	2,267,393	2,263,537	3,856
繰越収支差額	△ 960,030	△ 997,371	37,341
〔負債及び純資産の部合計〕	1,710,684	1,690,951	19,733

【資金収支計算書】

収入の部

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
【学生生徒等納付金収入】	334,000	335,259	△ 1,259
【手数料収入】	3,870	4,228	△ 358
【補助金収入】	18,000	17,999	1
【資産売却収入】	1,000	1,415	△ 415
【事業収入】	27,000	27,254	△ 254
【受取利息・配当金収入】	1	1	0
【雑収入】	6,254	6,513	△ 259
【借入金等収入】			0
【前受金収入】	214,000	219,885	△ 5,885
【その他の収入】	81,460	83,326	△ 1,866
【資金収入調整勘定】	△ 200,373	△ 200,300	△ 73
〔前年度繰越支払資金〕	294,835	294,835	—
〔収入の部合計〕	780,047	790,417	△ 10,370

支出の部

(単位:千円)

科目	予 算	決 算	差 異
【人件費支出】	125,650	124,330	1,320
【教育研究経費支出】	82,900	79,792	3,108
【管理経費支出】	123,960	120,680	3,280
【借入金等利息支出】	1,200	1,107	93
【借入金等返済支出】	78,560	78,560	0
【施設関係支出】	12,000	10,215	1,785
【設備関係支出】	9,000	7,217	1,783
【その他の支出】	90,214	83,388	6,826
【資金支出調整勘定】	△ 39,703	△ 39,088	△ 615
〔翌年度繰越支払資金〕	296,266	324,212	△ 27,946
〔支出の部合計〕	780,047	790,417	△ 10,370

【事業活動収支計算書】

(単位:千円)

科目	予 算	決 算	差 異
【学生生徒等納付金】	334,000	335,259	△ 1,259
【手数料】	3,870	4,228	△ 358
【経常費等補助金】	18,000	17,999	1
【事業収入】	27,000	27,254	△ 254
【雑収入】	6,254	6,513	△ 259
〔教育活動収入計〕	389,124	391,254	△ 2,130
【人件費】	127,650	126,139	1,511
【教育研究経費】	102,900	99,152	3,748
【管理経費】	125,160	121,864	3,296
〔教育活動支出計〕	355,710	349,669	6,041
教育活動収支差額	33,414	41,585	△ 8,171
【受取利息・配当金】	1	1	0
〔教育活動外収入計〕	1	1	0
【借入金等利息】	1,200	1,107	93
〔教育活動外支出計〕	1,200	1,107	93
教育活動外収支差額	△ 1,199	△ 1,106	△ 93
〔経常収支差額〕	32,215	40,478	△ 8,263
【資産売却差額】	300	718	△ 418
〔特別収入計〕	300	718	△ 418
【資産処分差額】	0	0	0
〔特別支出計〕	0	0	0
特別収支差額	300	718	△ 418
〔基本金組入前当年度収支差額〕	32,515	41,197	△ 8,682
(基本金組入額合計)	△ 12,000	△ 3,856	△ 8,144
〔当年度収支差額〕	20,515	37,340	△ 16,825
前年度繰越収支差額	△ 997,371	△ 997,371	—
〔翌年度繰越収支差額〕	△ 976,856	△ 960,030	△ 16,826
(参考)			
事業活動収入計	389,425	391,973	△ 2,548
事業活動支出計	356,910	350,776	6,134